



発行番号：第14A1122号  
発行日：平成26年 8月29日

## 品質性能試験報告書

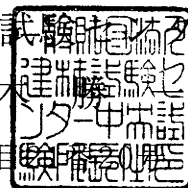
依頼者                      サンスター技研株式会社

大阪府高槻市朝日町3番1号

試験名称                      建築用シーリング材「ペンギンシールMS2570 typeNB」の性能試験

標記試験結果は本報告のとおりであることを証明します。

一般財団法人    建材試験センター  
中央試験所長    黒木 大輔  
埼玉県草加市稲荷5丁目



[試験名称]

建築用シーリング材「ペンギンシールMS2570typeNB」の性能試験

[目次]

1. 試験の内容	-----	2
2. 材料及び試験体	-----	2
3. 試験方法	-----	4
4. 試験結果	-----	5
5. 試験の期間, 担当者及び場所	-----	8

## 1. 試験の内容

サンスター技研株式会社から提出された建築用シーリング材「ペンギンシール MS2570typeNB」について、以下に示す項目の試験を行った。

- |                     |                     |
|---------------------|---------------------|
| (1) スランプ            | (2) 弾性復元性           |
| (3) 定伸長下での接着性       | (4) 圧縮加熱及び引張冷却後の接着性 |
| (5) 水浸せき後の定伸長下での接着性 | (6) 体積損失            |
| (7) 耐久性             |                     |

## 2. 試料及び試験体

依頼者から、スランプ及び体積損失用として試料（シーリング材）と、その他の試験項目用として依頼者が作製した試験体が提出された。依頼者から提出された試料及び試験体の概要を以下に示す。

## 2.1 試料（シーリング材）

試料の概要及び試験項目を表-1に示す。

表-1 試料の概要（依頼者提出資料）

名 称		建築用シーリング材
商 品 名		ペンギンシール MS2570typeNB
種 類	タ イ プ	F
	ク ラ ス	12.5
	サブクラス	E
主成分による区分		変成シリコーン系（記号：MS）
製品形態による区分		2成分形（記号：2）
耐久性による区分		8020
呼 び 方		F-12.5E-8020（MS-2）
色		A-ウッデイブラック
ロット番号	基 剤	4204B
	硬 化 剤	4304H
	ト ナ ー	4104P
質 量 配 合 比		基剤：硬化剤：トナー＝100：12：5.2
数 量	基 剤	4Lセット（トナー含む）
	硬 化 剤	
試 験 項 目		スランプ、体積損失

## 2.2 試験体

試験体の形状は、各種試験用と耐久性試験用の2種類である。試験体の概要をまとめて表-2に示す。

## (1) 各種試験用試験体（依頼者提出資料）

各種試験用試験体は、表-1に示すシーリング材と、表-3に示すプライマーを使用して、依頼者が作製及び養生を行ったのち、中央試験所に搬入された。

表-2 試験体の概要（依頼者提出資料）

試験項目	形状	被着体	数量
弾性復元性	JIS A 1439に規定される試験体	アルミニウム板 (75mm×12mm×6mm)	3個
定伸長下での接着性		アルミニウム板 (75mm×12mm×6mm)	6個
圧縮加熱及び引張冷却後の接着性		アルミニウム板 (75mm×12mm×6mm)	3個
水浸せき後の定伸長下での接着性		アルミニウム板 (75mm×12mm×6mm)	3個
耐久性	JIS A 1439の5.17に規定される試験体2形 (H型試験体)	アルミニウム板 (50mm×50mm×5mm)	3個

表-3 プライマーの概要（依頼者提出資料）

プライマー	商 品 名	US-3
	ロ ッ ト 番 号	3204K
	数 量	500mL
	塗 布 方 法	刷毛塗り
	オープンタイム	2時間

## 3. 試験方法

各種試験は、JIS A 5758 に従って行った。

なお、適用する目地幅の条件は表-4 に示すとおりとし、耐久性試験は、目地幅の拡大・縮小を行った。

表-4 目 地 幅 の 条 件

試 験 項 目		目 地 幅 の 条 件
弾 性 復 元 性		伸 び 率 : 60% 伸長時の目地幅 : 19.2mm
定 伸 長 下 で の 接 着 性		伸 び 率 : 60% 伸長時の目地幅 : 19.2mm
圧縮加熱及び引張冷却後の接着性		拡大・縮小率 : $\pm 12.5\%$ 拡大時の目地幅 : 13.5mm 縮小時の目地幅 : 10.5mm
水浸せき後の定伸長下での接着性		伸 び 率 : 60% 伸長時の目地幅 : 19.2mm
耐 久 性 (区分 : 8020)	目地幅の拡大・縮小	目 地 幅 : 14.4mm~9.6mm 変 形 率 : $(+20\sim-20)\%$ 回 数 : 2000 回

## 4. 試験結果

- (1) 試験結果一覧を表-5 に示す。  
 (2) 各試験結果の詳細を表-6～表-12 に示す。

表-5 試験結果一覧

試験項目			試験結果	JIS A 5758に 規定される性能 (タイプ F, 12.5E)
スランプ mm	縦	50℃	1	3 以下
		5℃	0	
	横	50℃	0	
		5℃	0	
弾性復元性 %			47	40 以上
定伸長下での接着性		23℃	3 個とも破壊は生じなかった。	破壊してはならない。
		-20℃	3 個とも破壊は生じなかった。	
圧縮加熱及び引張冷却後の接着性			3 個とも破壊は生じなかった。	破壊してはならない。
水浸せき後の定伸長下での接着性			3 個とも破壊は生じなかった。	破壊してはならない。
体積損失 %			3	25 以下
耐久性 (区分 : 8020)			3 個とも試料の溶解, 膨潤, ひび割れ, 被着体からのはく 離などの明確な異常は認めら れなかった。	明確な異常があつて はならない。

表-6 スランプ試験結果

試験項目			スランプ mm			
			1	2	3	平均
スランプ	縦	50℃	0.5	0.5	0.5	0.5
		5℃	0.0	0.0	0.0	0.0
	横	50℃	0.0	0.0	0.0	0.0
		5℃	0.0	0.0	0.0	0.0

表-7 弾性復元性試験結果

試験項目	弾性復元性 %			
	1	2	3	平均
弾性復元性	45	45	50	47

表-8 定伸長下での接着性試験結果

試験項目	試験温度	外観観察結果
定伸長下での接着性	23℃	3個とも破壊は生じなかった。
	-20℃	3個とも破壊は生じなかった。

表-9 圧縮加熱及び引張冷却後の接着性試験結果

試験項目	外観観察結果
圧縮加熱及び引張冷却後の接着性	3個とも破壊は生じなかった。

表-10 水浸せき後の定伸長下での接着性試験結果

試験項目	外観観察結果
水浸せき後の定伸長下での接着性	3個とも破壊は生じなかった。

表-11 体積損失試験結果

試験項目	体積損失 %			
	1	2	3	平均
体積損失	2.8	2.8	2.8	2.8

表-12 耐久性試験結果

試験項目	外観観察結果
耐久性 (区分：8020)	3個とも試料の溶解，膨潤，ひび割れ，被着体からはく離などの明確な異常は認められなかった。



5. 試験の期間，担当者及び場所

期 間 平成26年 7月 8日から  
平成26年 8月14日まで

担 当 者 材料グループ  
統括リーダー 鈴木敏夫  
主任 志村重顕  
参与 清水市郎（主担当）

場 所 中央試験所

以下余白



承認なく転載することを禁じます